

令和5年度第3回江東区みどりの基本計画推進会議 議事録

日 時	令和6年3月26日(火) 10:00~11:30
場 所	江東区文化センター4階 第2、3会議室
出席者	<p>〈委員〉</p> <p>島田 正文 (一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問)</p> <p>柳井 重人 (千葉大学 大学院園芸学研究院 教授)</p> <p>櫻井 節子 (北砂4・7丁目町会)</p> <p>矢部 正治 (公募区民) (欠席)</p> <p>葭葉 抄子 (公募区民)</p> <p>平野 智也 (NECソリューションイノベータ株式会社)</p> <p>渡部 陽介 (清水建設株式会社 技術研究所)</p> <p>美濃又 哲男 (みどりネット Koto 代表)</p> <p>須永 淑子 (NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長)</p> <p>中村 和弘 (豊洲小学校校長) (欠席)</p> <p>〈委員(区職員)〉</p> <p>石井 康弘 (土木部長)</p> <p>大塚 尚史 (企画課長)</p> <p>藤原 慶 (営繕課長)</p> <p>伊藤 裕之 (地域振興課長)</p> <p>鳥井 将弘 (保育課長) (欠席)</p> <p>西谷 淳 (温暖化対策課長)</p> <p>谷川 寿朗 (都市計画課長)</p> <p>大野 俊明 (管理課長)</p> <p>召田 和也 (道路課長)</p> <p>清田 光晴 (河川公園課長)</p> <p>八巻 亮 (施設保全課長)</p> <p>西尾 基宏 (学校施設課長)</p> <p>飯塚 雅之 (指導室長) (代理:指導室指導主事 濱田 和樹)</p> <p>〈事務局〉</p> <p>管理課:大野(管理課長)、吉木、中村、松井</p> <p>〈傍聴人〉</p> <p>1名</p>
次第	<p>議題</p> <p>(1) 各事業進捗について</p> <p>(2) 令和5年度みどりに関する事業</p> <p>(3) 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告</p> <p>(4) 令和6年度の予定について</p> <p>(5) その他</p>

配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第（本紙） ・江東区みどりの基本計画推進会議 委員名簿 ・資料1：重点プロジェクト事業進捗管理表 ・資料2：事業進捗管理表（令和5年度） ・資料3：令和5年度みどりに関する事業 ・資料4：江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告 ・資料5：令和6年度の予定について ・参考1：重点プロジェクトの取組状況 ・参考2：各施策の取組状況 ・参考3：令和5年度における各公園指定管理者等の取り組み ・意見等回答様式
------	---

開会

注意事項及び連絡事項

事務局

（注意事項説明）

会議の傍聴について、本日1名の方が傍聴を希望しており、これを認めている。

会長

本日の議題は、5つである。

事務局からの説明は要点を中心をお願いしたい。

議題1 各事業進捗について

会長

それでは議題1各事業進捗について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

（資料1、資料2、参考1、参考2説明）

委員

資料1の最終行にある「江東区みどりの情報の発信」について伺いたい。発信内容として、資料3にある「みどりに関する事業」の参加者募集や活動報告、77団体になった区内にある各コミュニティガーデン団体や花壇、みどりに関する制度の紹介、その他重点プロジェクトに関する進捗状況の共有など、ネタとしては様々取り上げられるのではないかと感じた。取り組み時間の捻出の都合かもしれないが、発信調整できることになった際には、検

討していただきたい。2点目は、資料2の「2-2-1 みどりのコミュニティづくり講座やコミュニティガーデン活動団体への支援」について気づいた点である。コミュニティガーデン事業は、区の中に小さなみどりを広げていくという都市部ならではの取り組みとして、生物多様性に貢献できるのではないかと感じた。企業としても生物多様性への注目が集まっており、この観点で事業を推進するなど生物多様性に配慮した緑化ガイドと共に区内の企業団体や区民の皆さんにアピールしていかれるのはいかがか。また、既に見学ツアーや取り組み紹介の際に実施されているかもしれないが、すべての講座が終了した後に、活動機会提供の一環で登録団体一覧と連絡先について紹介すること、連携できそうな場合にはシンボルツリー事業とも絡められると良いのではないかと感じた。

委員

資料2の4ページに記載のある剪定枝葉等チップ化及び堆肥化の件について、供給先の選定に苦慮しているというのは、チップ材や堆肥化したものを渡す先がなかなか無いという意味合いなのか。

委員

そのとおりである。チップを公園等に敷きならす事業を行なっているが、敷きならす先においても、毎回チップを入れていくと嵩が増えていき、土留め等を新たに整備しなければならない状況もあり、チップを供給する先がだんだん減ってきている状況である。

委員

資料2の「4-1-2 次世代を担うみどりの人材育成」の件だが、みどりのボランティアといわれる人たちの年代が全体的に上がってきている。私が主に関わっているのは、コミュニティガーデンだが、やはり年配の方が多くて、時が経つに連れて、年齢も上がってきている。若くても40代や50代の世代が入ってきている状況がある。同じような状況が、ポケットエコスペース等のビオトープを管理している方たちも同様と伺っている。世代的なこともあると思うが、私や〇〇氏がボランティア活動に参加していたのは40代ぐらいだったが、今の時代はその年代の人たちが入ってきていない。ビオトープを担当しているのは、施設保全課になると思うが、区全体としてボランティアの人たちをどのように確保するか、どのように活躍してもらおうかということを横断的に考えていただきたい。

会長

今の内容の後半部分にあった高齢化とその後にどうするかという意見は、推進会議において何度か上がっているため、区の方も検討されていると思うが、解決策はまだ見つからないのかもしれない。

委員

高齢化の問題は、行政でも認識している。ボランティアの方が声かけを行っても人が集まらず、その状況で高齢化が進み、人数も減ってきているという状況があると認識している。一方、民間の取り組みとしては、清水建設においてビオトープの活動に若い方を取り入れて発表の場を設け、一緒に取り組んでいる事例もある。行政では、そのような事例も参考としながら、若い方やこれからを担う人材の育成について少しずつ調査研究していきたいと考えている。

会長

調査研究にとどまらず、いろんな機会を使い、実行に移して行くと良いと思う。どの自治体においても同じような悩みを抱えていると思う。

副会長

課題又は評価内容をきちんと書いていただけるようになったが、これはとっても良いことだと思う。数字として達成率の記載、それぞれの事業ごとに評価の内容やそれに基づく課題を記載しているが、これはとても重要なことだと思う。これによって、課題が何かということなど色々なことがわかってくる。そのようなことが、次のみどりの基本計画に繋がっていくと思う。これについては、良いことなので続けていただきたい。その上で、みどりのまちなみづくり事業が捗々しく進んでない。これは多くの自治体で同じような悩みを抱えているのではないかなと思う。

助成の内容、要件に関わる課題や手続きに関わる課題、あるいは認知経路がどのようになっているのか。区にパンフレット等が置いてあるだけだと認知できないため、庭のリフォーム会社やホームセンターに置くのが良いのか、あるいは緑化指導とリンクする等、色々な認知経路及び情報をどのように波及させるのかという複合的な要因があると思う。資料では、ニーズや手続きに課題があると書いてあるが、総合的にご検討いただきたい。それから、評価と合わせて課題を記載することで、A評価のものは実施しただけでなく、実施したが課題があるということが表現されている点も良いと思う。例えば、資料2の「2-2-2 みどりを通してみんなが農体験できる場所を作ります」では、A評価だが、課題を見ると倍率が高く、高いニーズがあるが、そこに対応できてないとのことがわかる。そのため、A評価であっても課題があるということがわかる。これを単純に見ていくことが良いと思う。それから、区民活動の高齢化に関する話が出たが、どの自治体も同じように抱えている問題である。今までは40代、50代は、働き盛りで一生懸命働いているため、時間が取れないという認識だったと思うが、コロナ以降、ウェブデザインをやっている人など、在宅で働き、自分の時間をやりくりできる人が少しずつ増加していると根拠はないが感じている。そういった方々に参加してもらえるようにするにはどうすべきか考えると良いと思う。

会長

評価については、数字で表してほしいと何度か事務局をお願いしたが、苦勞されて出てきた。現在、自治体の多くは、A、B、C 評価ではなくて、できるだけ数値で表す方向へ変わってきている。A 評価がさらに良くなる、大学の成績で言うと S になる。それを目指して頑張っていたきたい。数字で表わしていただいたことは、とても良いことだと思う。今後もぜひ続けていただきたいと思う。

議題 2 令和 5 年度みどりに関する事業

会長

それでは議題 2 令和 5 年度みどりに関する事業について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

(資料 3 説明)

委員

現在、我々も関与して、さくら祭りを大横川で実施している。当時、江東区が植えたサクラが、今では江東区の名所になっている。その中で、現在すごく気になっているのは、そのサクラたちが高齢化していることであり、それらを植え替えるのではなく、株間に苗木を補植するなどの方法が取れないかと思う。このまま廃れないように、みどりの担当の方にご尽力いただけたら良いと思う。

委員

大横川のサクラ並木はこれからの時期すごく綺麗になってくると思う。一方で、樹勢に関しては勢いがなくなっている話を頂戴した。今後、職員ではなく樹木医を介して、サクラの樹勢がどの程度健全であるか検診することを検討していきたいと考えている。また、輪肥による施肥等、考えられる樹勢回復方法を検討していきたい。

委員

補植はされないのか。悪くなってからではなく、それを見越したルーティンにしてほしいと思う。

委員

大横川のサクラは大体 10 メートル間隔で植えられている。そのため、補植しても既存のサクラの葉が茂ってしまうと、補植した木が育ちにくいと、一本抜いたところに植栽する

ような方法でないと、植えた木がしっかりと根付いていかないと考えている。補植については、もう少し検討しなければならない。

委員

まちの人たちも心配していたので、お伝えした。

委員

私は樹木医で、猿江に住んでおり、大横川沿いのサクラを見ているが、河川の土手敷きの客土 40cm 程度の場所に植えられているため、なかなか根が深く張らない。そのため、樹勢も衰退が早いのだと思う。また、補植については、さきほど施設保全課長からご説明のあったとおり、周りのサクラとの競合があるため、難しいと思っている。

会長

サクラは結構難しい。抜いた後に新しい苗を植えてもサクラの特性として、うまく育たない。樹木の更新については大事だと思う。一気に切ってしまうと、区民は大騒ぎになってしまう。委員がおっしゃったように、更新していく方が良いと思う。公園の樹木も街路樹もそうだが、その樹木の更新をこれからどうしていくのかについては、非常に大事な問題であり、いい機会であるため、うまく学習した方が良い。専門家と良く相談して、どのように更新計画等を考えていくのか、ぜひ検討してもらいたい。

委員

令和5年みどりに関する事業ということで、改めて色々なことをやられていることを感じた。先ほどのボランティアの高齢化等に繋がることとして、このようなイベントで知ってもらい、次に繋がる仕組みができると良いのではないかと思うが、このようなイベントを次のアクションに繋げているような事例があれば教えていただきたい。

事務局

様々なイベントを実施している情報は収集しているが、例えば人材不足であるとか人材育成につなげていく事例については、把握できていない。一方で、みどりの基本計画においても人材育成や情報収集、発信については記載があり、検討事項として認識しているため、いただいた意見を参考にして、来年度の研究材料に上げていきたい。ただ集めるだけではなく、効果的に発信していく観点も持っていきたいと考えている。

委員

イベントのテーマによっては、みどりのボランティアに関心のある方々が来ている場合が多いと思うので、次に繋がる人材育成として、ちょっとしたカード1枚の配布など、少し

ハードルを下げた情報発信をしていくことが大事かと思う。

委員

本当に色々なことをされていると改めて思った。私も知らないことがいくつもあり、当然、区民の方はもっと知らないのだろうなと思った。色々な団体、主体の方が関わっているの、その人たちの横の繋がりづくりの場を設けた方が良いと思う。後ほどご説明するが、みどりの基本計画推進会議部会を立ち上げて、部会で話し合いをすることで顔見知りとなり、相乗効果として、部会の活動とは違うところに色々な効果が生まれてきている。これだけ色々方が、色々なテーマで取り組みをされているのであれば、もっと横の繋がりを密にするような機会を設けていただくと、それが次のことに繋がっていくと考えている。

委員

去年と今年、私の息子が小学生カヌーレースに参加させてもらったことをきっかけに、江東区には中学校合同でカヌー部があるということを知った。息子よりも父親の方が興味を持っている。このようなイベントは、自分たちが住んでいる区の環境を知る意味でも、とても重要であり、実際にそれを体感した。ただし、応募方法が、ファックス応募であるとか、内容によっては往復ハガキなど、募集方法のハードルが高い。現代では、メールで気軽に申し込みができる方が、さらに多くの家庭も参加できると毎回感じている。もう少し応募方法のハードル下げてもらえるとありがたい。

会長

今時でないということかと思う。時代にあった応募方法を考えていただきたい。委員の皆さんがおっしゃったように、3部6課がいろんなことをやっており、このままにすると本当にもったいないと思う。プラットホームをどの部署がやるのかという話になるが、うまく調整していただきたい。課の連携だけでなく、区民団体の連携もうまくやることで、大きな力になると思う。ぜひ、何かアクションされると良いのではないかと思う。

議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

会長

それでは議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告について、部会長より説明をお願いしたい。

委員

(資料4 説明)

副会長

毎度のことだが、皆様のご協力に感謝申し上げる次第である。継続的に毎月やられていることに敬意を表す。みどりの基本計画はP D C Aで回すということになっているが、みどりの基本計画の策定委員会がP D C AのPとなる。推進会議というのは、点検、評価することや見直しも含まれる。行政計画では、P D C Aと書くことが多いが、D Oの部分をものように推進していくのかというところが、抜けていることが多い。委員会を作ってチェックするという話と計画作りますという話だけで、実際、どのように進めていくのかというところに推進力を持ってないことが多い。部会の持つ意味は、行政がそれぞれ推進する、市民がそれぞれ推進する、企業がそれぞれ推進するという中で、パートナーシップで推進しているというところに、大きな意味があると思う。個々に推進しているのではなくて、パートナーシップで推進していることと、今までの活動を継続するというよりも新しい試みを試行して、何かを得ようとしていることが、一番大事なことだと思う。そういった推進力のようなエネルギーを培ってこられたノウハウやネットワークというのは、大きな財産だと思う。これをどう生かすのかをきちんと議論しないといけない。一生懸命やって、花壇も綺麗になったら終わりではなく、それだけの財産をどのように継承していくことが、とても大事である。部会の活動をみどりの基本計画の中できちんと位置付けていかなくてはならない。みどりの基本計画の中で位置づけるということは、事業、プロジェクトとしてオーソライズして、予算化まで考えることが必要だと思う。また、みどりの基本計画の中では、地区別の取組方針があるため、東陽町のモデル地区を計画として入れ込むことなど、きちんと施策の中に反映して活かしていくことが必要である。

議題4 令和6年度の予定について

会長

それでは議題4 令和6年度の予定について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

(資料5 説明)

委員

生物多様性地域戦略について、今年の今頃にこの会議で作成していただきたいとお話ししたものを具体化していただき、ありがたく思う。ボランティアの高齢化についての話と同様に、生物多様性地域戦略も、区が行政文書として作れば生物多様性の保全が進むということではないと思う。なるべく、区民を巻き込むような形で業務を進めていただきたい。生物多様性の話は、名古屋のCOP10の時に、一時期国内で盛り上がったが、そこから言葉として出ることが少なくなっている。一方で、冒頭に委員から話があったように、色々

企業が生物多様性に配慮しなければいけないことを重々わかってきている状況である。コンサルを決め、2年間かけて生物調査や策定のための作業をされるのであれば、それをネタにしながら、企業と繋がる意味合いでも、色々なことを企画していただきたいと思う。部会の中でも検討できると思う。また、ネイチャーリーダー江東や生物多様性に関する活動をしている団体もあるので、それを巻き込みながら作業を進めていただきたい。

会長

一番気になるのは、密接に関係しているみどりの基本計画後期と生物多様性地域戦略の策定が同時に進行していくため、事務局はかじ取りを十分注意していただきたい。また、都市緑地法の改正が国会で通ると、施行は今年の秋頃となる。改正の内容には、4つほど大きなテーマがあるが、中でも、樹木、樹木の更新や民間緑地の扱いについて考えなくてはいけない。自然共生サイトとしては、江東区では清水建設の再生の杜とフジクラの2箇所が登録されている。柳井副会長が審査員をされているSEGESもフジクラと豊洲にはアーバンドックパークシティと、豊洲市場に近接する東京ワンダフルプロジェクトの2箇所がある。これは民間がやることだが、そのような民間緑地が増えるように区がサポートすることや緑化指導でアドバイスしていくことで、CITY IN THE GREENに近づくのではないかと思う。みどりの基本計画は推進会議を設置しているが、生物多様性地域戦略も推進会議あるいはアクションプランを作り、計画で終わらないようにしていただきたい。アクションプランは別立てでやるのがベストだが、予算の関係などあると思うので、アクションプランに近づけることが重要である。区政に余計な口出しはしないが、これらを5名の職員で実施することは難しいと思う。通常だと2課で行ってもおかしくない作業なので、ぜひその辺り何かの機会に検討いただければと思う。

委員

令和6年度については、事務局から説明があったとおり、みどりの基本計画後期の策定、併せて生物多様性地域戦略の策定に向けて動いている。みどりの基本計画については、上位計画である長期計画の後期を区で策定する。その上位計画に基づいてみどりの基本計画も合わせて策定するため、整合性を図っていく。生物多様性地域戦略の策定にあたっては、島田会長のご意見にもあったとおり、みどりの基本計画と密接な繋がりがあるため、整合性を図っていくということで色々な意見をいただきたい。みどりの基本計画については、生物多様性だけではなく、その他色々な機能がある。みどりの基本計画の中でも生物多様性については、当然記述してく形になるので、その辺をどのように整合性を図っていくについては、委員長並びに委員の皆さんからの意見に基づいて進めていきたいと考えているので、よろしく願いたい。

議題5 その他

会長

連絡事項について、事務局から願います。

事務局

(意見回答様式、次回推進会議開催連絡)

会長

以上をもって、第3回江東区みどりの基本計画推進会議を終了する。

以上